事由	退職
記入例番号	6
ケース	非課税（特別徴収税額0円）の従業員が退職
異動後の未徴収税額	普通徴収

給与支払報告
特別徴収 に係る給与所得者異動届出書

年度：1．現年度　2．新年度　3．両年度

所在地	〒 ×××-×××× ○○県○○市○○町○○番地	特別徴収義務者指定番号	6012345
		宛名番号	1234
フリガナ		担当者 所属	総務課　給与係
氏名又は名称	○○商事株式会社	担当者 氏名	田中　花子
個人番号又は法人番号	1 2 3 4 5 1 2 3 4 1 2 3 4 ←個人番号の記載に当たっては、左端を空欄とし右詰めで記載	担当者 電話	0123-45-6789　内線（ 123 ）

給与支払報告書に記載した事業所内で従業員のかたを管理・特定するための番号を記入。
特にない場合は、空欄。

給与所得者		(ア) 特別徴収税額（年税額）	(イ) 徴収済額	(ウ) 未徴収税額 (ア)－(イ)	異動年月日	異動の事由	異動後の未徴収税額の徴収方法
生年月日	S 33 年 6 月 9 日						
個人番号	1 2 3 4 1 2 3 4 1 2 3 4						
受給者番号	12345		6 月から 8 月まで	9 月から 5 月まで	×× 年 8 月 31 日	1（右から番号を記入）1．退職 2．転勤 3．休職・長期欠 4．死亡 5．支払少額・不定期 6．合併・解散 7．その他 事由・理由	3（右から番号を記入）1．特別徴収継続 2．一括徴収 3．普通徴収（本人納付）
1月1日現在の住所	吉野ヶ里町○○△△△△番地						
異動後の住所	□□市□□町□□番地	0 円	0 円	0 円			

課税された年度の1月1日時点での住所地で課税されるため、その住所を記入。転居しても、５月分までの１年分を１月１日の住所地に納めます。

異動の事由が「7.その他」の場合は、理由を記入してください。

1．特別徴収

新しい勤務先（事業所）　氏名又は名称　番

受給者番号

納入書の要否（新規の場合のみ記載）　右から番号を記入　1．必要　2．不要

2．一括徴収の場合

理由　右から番号を記入
1．異動が令和　年12月31日までで、一括徴収の申出があ
2．異動が令和　年１月１日以降で、特別徴収の継続の申

3．普通徴収の場合

理由　右から番号を記入
1．異動が令和３年12月31日までで、一括徴収の申出がな
2．令和　年５月31日までに支払われるべき給与又は退職
3．死亡による退職であるため

8月末で退職した給与所得者の徴収方法を、9月分から普通徴収に変更する場合。

（ア）特別徴収税額（年税額）　0円（６月から翌年５月分）
（イ）徴収済額　0円（６月から８月分）
（ウ）未徴収税額　0円（９月から翌年５月分）
↑
普通徴収税額